

大分県教育委員会 (所在地: 大分市府内町3丁目10番1号)

事業名

生涯を通じた障がい者の学び支援事業

事業の趣旨・目的

・障がい者の生涯にわたる学びを支援するため、以下の取組を行う。

- ①教育と福祉等、分野横断的・持続的な関係者の連携体制の確立(コンソーシアム)
- ②学校教育から社会教育への円滑な接続、保護者への普及啓発(出前講座等)
- ③「学びの拠点」構築、県内全域での講座等の実施(モデル事業、青少年の家、大学)
- ④専用ウェブサイトの充実、認知度向上

事業実施体制・連携先

実施主体 **大分県地域連携コンソーシアム**

- 大分大学 ○特別支援学校 ○大分県社会福祉協議会 ○大分県障害者社会参加推進室 ○芸術文化 ○スポーツ団体 ○当事者団体 ○企業
- 行政(市教委、県教委(社会教育課、特別支援教育課)、県福祉保健部)

事務局 県教育委員会社会教育課(事業のコーディネーター的役割も担う)

事業内容

I 地域連携コンソーシアム会議

(内容)・社会教育・特別支援教育・障がい福祉関係者のネットワーク維持強化、情報や課題について協議⇒地域連携コンソーシアム会議実施(年4回)

(構成)県教委、県障害福祉課、特別支援学校、大分大学、市教委、県社会福祉協議会、市町村自立支援協議会、企業、障がい者支援団体、芸術・スポーツ関係団体

II 普及・啓発

- 「かたろうえ大分」による、情報の一元化
- 実践交流会(共に学び、生きる共生社会コンファレンス)での事業の啓発・普及
- DET(障害平等研修)の実施(県内2箇所:3カ年で6箇所)による支援者養成

III 学びの機会やプログラムの創出及び全県的拡大

- 大分大学及びモデル公民館・図書館、県立青少年の家での講座(インクルーシブな講座を含む)実施
- 県内特別支援学校との連携強化及び在学中に「卒業後の学び」に触れる機会を増大(大学や公民館講座、おおいたユニバーサルカレッジへの誘導)
- 県内18市町村の障がいがある方対象の講座の実態調査

IV 学びの拠点の拡充及び機能強化

- 「おおいたユニバーサルカレッジ」拡充⇒居心地の良い「サードプレイス」としての定着を図り、「学びの拠点」として学びたい人と学ぶ場をつなぐ
 - ・利用者が定期的・継続的に集い、交流できる場(居場所)の提供
 - ・利用者の心身の健康保持や豊かに生きる力の育成、社会参加の促進を図るため、スポーツ・芸術・社会スキル等に関する学習プログラムの開発・実施
 - ・広報・啓発活動の推進(チラシ等での広報及び公民館の出前講座、盲学校・聾学校を含む大分市内全特別支援学校で出前講座の実施)



おおいたユニバーサルカレッジ



特別支援学校出前講座

事業終了後の目指す方向性

「障がい者の生涯学習支援」の継続・発展⇒**県として事業化する**

- ①地域コンソーシアム会議
- ②特別支援学校出前講座
- ③ウェブサイト「かたろうえ大分」
- ④**おおいたユニバーサルカレッジ**

※市町村や大学等は自前で講座等を実施し、求めに応じて県は助言等の支援を行う。

「学びの提供者」と「学びたい人」をつなぐハブ、「ワンストップ相談施設」としての機能を持つ。「コンソーシアム」及びウェブサイト「かたろうえ大分」、「特別支援学校出前講座」と有機的に連動しながら取組を推進。

その他

- ・障がい者の生涯学習に関する専用サイト「かたろうえ大分」に県の取組や各種団体・イベント情報、学習動画を掲載
- ・令和4～6年度取組をまとめた「報告書」を発行(「かたろうえ大分」に掲載)

「かたろうえ大分」トップページ



HPの二次元コード→

